

二上山だより

鳥の掲示板がきれいに

二上山雌岳山頂東のあずまやは登山者の憩いと交流の場。その横に建っていた鳥の図鑑掲示板が地元葛城市の松下さん、香芝市の河島さんらの努力できれいになりました。

位置も移され、屋根までついて見やすくなり、登山者に喜ばれています。



下 シャクジョウソウ

シャクジョウソウ(錫杖草)

尾根筋の道にシャクジョウソウが姿をみせています。イチヤクソウ科シャクジョウソウ属。シャクジョウは「錫杖」で僧や山伏がもつ金属性の輪がついた杖。この花の姿をそう見立てたもの。

ギンリョウソウと同様に葉緑体を持たず、土中の菌類から養分をもらって生活している腐生植物です。自らは栄養をつくらないので、菌類に「寄生」していると言えるかもしれませんね。



ウツボグサ (シソ科ウツボグサ属)

山麓の畦などに咲いています。昔矢を沢山入れて背負った鞆(うつぼ)に花の姿が似ているとのこと。



ウツボグサ

ヤマアジサイ (ユキノシタ科アジサイ属)

ササユリからバトンを受けて二上山の夏を彩るのはアジサイです。岩屋、雌岳へと辿る遊歩道の辺りはアジサイが沢山植えられています。林の中ではヤマアジサイが変化に富む色をみせています。



ヤマアジサイ

明星ヶ岳下見登山 6月17日単独

5:00 自宅をマイカーで出発

6:00 天川村熊渡着 6:04 出発

林道はウツギ、コアジサイが花盛り。
カジカガエルの鳴き声が快く響いている。

6:46 林道終点。植林の中のジグザグ急登をゆっくりと登る。やがてブナ主体の自然林に。ホトトギスに続いてカッコウが啼きだす。今年のはじめてのカッコウ。足元にはタニギキョウ。

8:04 熊渡分岐。川合からの登山道と合流。頂仙岳の南側を巻く道にはギンリョウソウがあちこちに顔をだしている。

下山中の単独登山者に2度会う。いずれも高齢者。口を揃えて昨日の雷雨と降雹のすごさを語る。

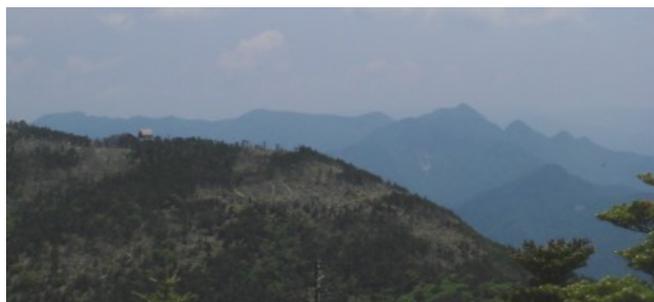
9:09 高崎横手着。道を右にとって自然林の中をゆるやかに登っていく。突然うすい緑灰色の小さな鳥が目の前で動き始めた。チリチリと鳴く。おや!と思ったら矢張り頭部に鮮やかなオレンジ。キクイタダキだ。60年ぶりの出会い。長崎の金毘羅山に冬になったら小群を成してきていた。懐かしく見守る。

10:09 奥駈道と合流。左側は鹿よけの長いフェンス。その中ではオオヤマレンゲが青々と茂り、まだ固い多くの蕾を蓄えている。マイヅルソウもフェンス内で沢山咲いている。フェンス外には極端に少ないので、この花も鹿による食害を受けるのだろうか。

10:13 明星ヶ岳。倒木、枯れ木の中の山頂。ここで昼食。昼食後八経ヶ岳へ。

10:50 八経ヶ岳(1915m)。先客2人。

10:55 下山開始。往路を引き返す。以上



八経ヶ岳から。手前の稜線上に弥山小屋



上 ガマズミ 下ギンリョウソウ



下 マイヅルソウ



